

# 令和5年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

令和5年5月19日

上場会社名 夢みつけ隊株式会社

上場取引所 東

コード番号 2673 URL <http://www.steilar.com/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐々木 ベジ

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務担当 (氏名) 羽沢 一也 TEL 03-6635-1791

定時株主総会開催予定日 令和5年6月24日 有価証券報告書提出予定日 令和5年6月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和5年3月期の連結業績(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期	262	52.5	35		26	69.0	22	72.3
4年3月期	553	17.3	4		85	51.3	81	56.7

(注) 包括利益 5年3月期 126百万円 ( %) 4年3月期 79百万円 ( 73.6% )

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
5年3月期	2.22		1.0	0.8	13.6
4年3月期	8.03		3.8	2.6	0.9

(参考) 持分法投資損益 5年3月期 73百万円 4年3月期 104百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年3月期	3,234	2,088	64.5	206.24
4年3月期	3,450	2,198	63.7	217.15

(参考) 自己資本 5年3月期 2,086百万円 4年3月期 2,196百万円

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
5年3月期	66	5	54	48
4年3月期	20	4	190	174

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
4年3月期		0.00		0.00	0.00			
5年3月期		0.00		0.00	0.00			
6年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

## 3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230	12.5	52		11	58.5	6	73.3	0.59

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年3月期	10,458,000 株	4年3月期	10,458,000 株
期末自己株式数	5年3月期	341,300 株	4年3月期	341,300 株
期中平均株式数	5年3月期	10,116,700 株	4年3月期	10,116,700 株

(参考)個別業績の概要

令和5年3月期の個別業績(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期	211	58.0	29		40		58	
4年3月期	504	18.4	0		12		16	

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円 銭		円 銭	
5年3月期	5.76			
4年3月期	1.62			

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
5年3月期	1,946		791		40.7	78.27		
4年3月期	2,114		850		40.2	84.03		

(参考) 自己資本 5年3月期 791百万円 4年3月期 850百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	1
(1) 当期の経営成績の概況 .....	1
(2) 当期の財政状態の概況 .....	1
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動規制は緩和されたものの、感染者数は依然高い水準に留まっております。また、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源の供給不足および物価上昇に加え、インフレ抑制のための世界的な金融引締め等が、大きくマイナスの影響を与えるなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）は、引き続き財務体質強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は262百万円（前連結会計年度比52.5%減）、営業損失は35百万円（前連結会計年度は営業損失4百万円）、経常利益は26百万円（前連結会計年度比69.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は22百万円（前連結会計年度比72.3%減）となりました。

各セグメントの業績は次の通りであります。

#### ① 通販小売事業

通販小売事業においては、収益性の低いカタログを休止し業務の縮小を図りながら、カタログのリニューアル準備を進めることにより、安定して利益を確保できる事業を目指しております。

以上の結果、通販小売事業の当連結会計年度の売上高は168百万円（前連結会計年度比54.0%減）となり、セグメント利益は6百万円（前連結会計年度比83.7%減）となりました。

#### ② 不動産事業

不動産事業においては、販売用不動産の売却を行うとともに所有する不動産の賃貸を行っております。

以上の結果、不動産事業の当連結会計年度の売上高は37百万円（前連結会計年度比71.9%減）となり、セグメント利益は18百万円（前連結会計年度比0.9%減）となりました。

#### ③ 介護事業

ライフステージ株式会社では、介護施設を運営し、デイサービスを行っております。引き続き、売上高の増加を目指し、利用者数増加のための営業活動の活性化、利用者へのサービス向上の取り組みを進めております。

以上の結果、介護事業の当連結会計年度の売上高は57百万円（前連結会計年度比4.3%増）となり、セグメント損失は4百万円（前連結会計年度はセグメント損失3百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ215百万円減少し、3,234百万円となりました。資産の主な変動要因は、現金及び預金並びに関係会社株式の減少などによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ105百万円減少し、1,145百万円となりました。負債の主な変動要因は、借入金の減少などによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ110百万円減少し、2,088百万円となりました。純資産の主な変動要因は、その他有価証券評価差額金などによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ125百万円減少し、当連結会計年度末には48百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が減少したことなどにより、66百万円の減少(前連結会計年度は20百万円の減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、5百万円の減少(前連結会計年度は4百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済などにより、54百万円の減少(前連結会計年度は190百万円の増加)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

指標	平成31年 3月期	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期	令和5年 3月期
自己資本比率 (%)	55.2	57.0	65.2	63.7	64.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	38.0	28.5	37.3	35.2	34.4
キャッシュ・フロー対有利子負債 比率 (年)	—	867.4	38.5	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシ オ (倍)	—	0.1	1.1	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスの連結会計年度は記載を省略しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内経済においては緩やかな景気回復の動きが続くものの、海外における政治体制の変化等により、先行きの見通しは不透明であることが予想されます。

このような環境の下、翌連結会計年度の連結業績見通しにつきましては、売上高230百万円(前年同期比12.5%減)、営業損失52百万円(前年同期 営業損失35百万円)、経常利益11百万円(前年同期比58.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益6百万円(前年同期比73.3%減)を予想しております。

また、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

現在、当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準に関しましては日本基準を適用しております。当社グループは、今後のグループ内外の動向に合わせた最適な会計基準の適用を検討してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当連結会計年度 (令和5年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	178,192	52,920
受取手形及び売掛金	35,429	13,482
商品	14,419	11,068
販売用不動産	927,131	927,131
その他	2,824	1,924
貸倒引当金	△677	△537
流動資産合計	1,157,319	1,005,988
固定資産		
有形固定資産		
建物		
減価償却累計額	△43,788	△44,654
減損損失累計額	△29,054	△29,054
建物(純額)	4,762	7,196
車両運搬具		
減価償却累計額	△16,654	△16,654
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品		
減価償却累計額	△12,261	△12,044
減損損失累計額	△1,655	△882
工具、器具及び備品(純額)	1,698	1,588
機械及び装置		
減価償却累計額	△14,957	△15,358
減損損失累計額	△12,845	△12,845
機械及び装置(純額)	401	0
有形固定資産合計	6,862	8,784
無形固定資産		
無形固定資産	1,915	161
投資その他の資産		
投資有価証券	2,200	2,200
関係会社株式	2,247,225	2,184,128
繰延税金資産	1,551	—
その他	33,046	33,046
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,284,023	2,219,375
固定資産合計	2,292,801	2,228,321
資産合計	3,450,121	3,234,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当連結会計年度 (令和5年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,198	4,232
短期借入金	563,526	544,982
1年内返済予定の長期借入金	50,667	41,945
未払金	57,185	40,926
その他	88,090	81,823
流動負債合計	787,668	713,910
固定負債		
長期借入金	426,708	396,762
繰延税金負債	554	554
その他	36,378	34,665
固定負債合計	463,640	431,981
負債合計	1,251,308	1,145,892
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	534,204	534,204
資本剰余金	266,761	266,761
利益剰余金	1,421,586	1,460,072
自己株式	△117,739	△117,739
株主資本合計	2,104,812	2,143,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88,452	△49,168
退職給付に係る調整累計額	3,581	△7,653
その他の包括利益累計額合計	92,033	△56,821
非支配株主持分	1,966	1,940
純資産合計	2,198,812	2,088,417
負債純資産合計	3,450,121	3,234,310



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
売上高	553,411	262,949
売上原価	300,966	96,290
売上総利益	252,445	166,659
販売費及び一般管理費	257,251	202,475
営業損失(△)	△4,806	△35,815
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	—	0
持分法による投資利益	104,055	73,374
償却債権取立益	2,181	2,000
その他	1,552	3,493
営業外収益合計	107,791	78,869
営業外費用		
支払利息	17,446	16,379
その他	—	161
営業外費用合計	17,446	16,540
経常利益	85,538	26,513
特別損失		
固定資産除却損	—	1,855
特別損失合計	—	1,855
税金等調整前当期純利益	85,538	24,657
法人税、住民税及び事業税	650	650
法人税等調整額	3,692	1,551
法人税等合計	4,342	2,201
当期純利益	81,195	22,456
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△50	△25
親会社株主に帰属する当期純利益	81,245	22,482

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
当期純利益	81,195	22,456
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,970	△148,855
その他の包括利益合計	△1,970	△148,855
包括利益	79,225	△126,399
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	79,275	△126,373
非支配株主に係る包括利益	△50	△25

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	534,204	266,761	1,343,748	△117,739	2,026,974
会計方針の変更による累積的影響額			△3,407		△3,407
会計方針の変更を反映した当期首残高	534,204	266,761	1,340,340	△117,739	2,023,566
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			81,245		81,245
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	81,245	—	81,245
当期末残高	534,204	266,761	1,421,586	△117,739	2,104,812

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	94,597	△593	94,004	2,016	2,122,994
会計方針の変更による累積的影響額					△3,407
会計方針の変更を反映した当期首残高	94,597	△593	94,004	2,016	2,119,587
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					81,245
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△6,145	4,175	△1,970	△50	△2,020
当期変動額合計	△6,145	4,175	△1,970	△50	79,225
当期末残高	88,452	3,581	92,033	1,966	2,198,812

当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	534,204	266,761	1,421,586	△117,739	2,104,812
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			22,482		22,482
連結範囲の変動			16,004		16,004
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	38,486	—	38,486
当期末残高	534,204	266,761	1,460,072	△117,739	2,143,298

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	88,452	3,581	92,033	1,966	2,198,812
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					22,482
連結範囲の変動					16,004
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△137,620	△11,235	△148,855	△25	△148,881
当期変動額合計	△137,620	△11,235	△148,855	△25	△110,394
当期末残高	△49,168	△7,653	△56,821	1,940	2,088,417

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	85,538	24,657
減価償却費	1,206	1,223
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△67	△139
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	17,446	16,379
為替差損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除却損	—	275
持分法による投資損益 (△は益)	△104,055	△73,374
売上債権の増減額 (△は増加)	△54,343	10,069
棚卸資産の増減額 (△は増加)	67,405	3,418
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,471	△23,877
未払金の増減額 (△は減少)	4,566	△15,453
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△10,032	6,698
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△20,221	△12,080
その他	—	1,633
小計	△14,030	△60,571
利息及び配当金の受取額	3,622	3,622
利息の支払額	△9,213	△8,027
法人税等の支払額	△600	△1,070
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△20,221</b>	<b>△66,046</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,000	—
有形固定資産の取得による支出	—	△3,300
預り保証金の返還による支出	△500	△2,377
預り保証金の受入による収入	1,081	664
差入保証金の差入による支出	△1,432	—
その他	△10	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,861</b>	<b>△5,013</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	32,139	△15,544
長期借入れによる収入	205,000	—
長期借入金の返済による支出	△46,169	△38,667
その他	△377	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>190,591</b>	<b>△54,212</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>165,509</b>	<b>△125,272</b>
現金及び現金同等物の期首残高	8,683	174,192
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>174,192</b>	<b>48,920</b>

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、通信販売業を主たる事業として取組んでおりますが、そのほかにも不動産事業及び介護事業を行っております。そのため、当社グループは事業別のセグメント「通販小売事業」と「不動産事業」、「介護事業」の3つを報告セグメントとしております。

「通販小売事業」は、自社発行のカタログやWebサイトなどによる通信販売を行っております。「不動産事業」は、不動産の賃貸・販売を行っております。「介護事業」は、通所介護サービス事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメント会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの数値は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自令和3年4月1日 至令和4年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	通販小売事業	不動産事業	介護事業	
売上高				
一定時点で移転される財	277,874	59,000	54,926	391,800
一定の期間にわたり移転される財	87,942	—	—	87,942
顧客との契約から生じる収益	365,817	59,000	54,926	479,743
その他の収益	—	73,668	—	73,668
外部顧客への売上高	365,817	132,668	54,926	553,411
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	365,817	132,668	54,926	553,411
セグメント利益又は損失(△)	37,821	19,151	△3,464	53,508
セグメント資産	243,367	937,131	18,616	1,199,115
その他の項目				
減価償却費	19	—	1,186	1,206
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	—	—	—

当連結会計年度 (自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	通販小売事業	不動産事業	介護事業	
売上高				
一定時点で移転される財	81,540	—	57,268	138,808
一定の期間にわたり移転される財	86,877	—	—	86,877
顧客との契約から生じる収益	168,417	—	57,268	225,685
その他の収益	—	37,263	—	37,263
外部顧客への売上高	168,417	37,263	57,268	262,949
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	168,417	37,263	57,268	262,949
セグメント利益又は損失(△)	6,162	18,972	△4,426	20,708
セグメント資産	86,388	937,131	20,462	1,043,981
その他の項目				
減価償却費	13	—	1,210	1,223
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	—	3,300	3,300

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	553,411	262,949
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	553,411	262,949

(単位: 千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	53,508	20,708
全社費用 (注)	△58,314	△56,524
連結財務諸表の営業損失 (△)	△4,806	△35,815

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位: 千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,199,115	1,043,981
持分法適用会社への投資額	2,247,225	2,184,128
全社資産 (注)	3,780	6,200
連結財務諸表の資産合計	3,450,121	3,234,310

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない固定資産及び投資等であります。



(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,206	1,223	—	—	1,206	1,223
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	3,300	—	—	—	3,300

【関連情報】

前連結会計年度（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略いたします。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

海外売上高がないため該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

海外に所在する固定資産がないため該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ピコイ	57,004	通販小売事業
フリージアハウス株式会社	61,401	不動産事業

当連結会計年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略いたします。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

海外売上高がないため該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

海外に所在する固定資産がないため該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ピコイ	56,400	通販小売事業

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前連結会計年度（自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
1株当たり純資産額	217.15円	206.24円
1株当たり当期純利益金額	8.03円	2.22円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	81,245	22,482
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益金額 (千円)	81,245	22,482
期中平均株式数 (千株)	10,116	10,116

(重要な後発事象)

該当事項はありません。